

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 7月 29日

千葉市長

殿



提出者

住 所：千葉県千葉市中央区神明町13-1神明ビル205

氏 名：若築・本間特定建設工事共同企業体

現場代理人 和田 隆

電話番号 043-306-2655

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

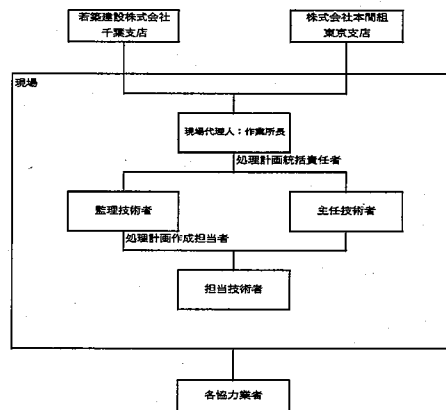
事業場の名称	若築建設株式会社
事業場の所在地	千葉市中央区新田町4-22
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：土木工事業
② 事業の規模	請負完成工事高 ￥1,177,635,574（税込み）
③ 従業員数	5人（共同企業体職員数）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第2面)別紙①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず類
	排 出 量	21.5m3	49.0m3
	（これまでに実施した取組） 土中から発生するごみとなるため、抑制のための特別な取り組みは行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず類
	排 出 量	6.0m3	10m3
	（今後実施する予定の取組） 土中から発生するごみとなるため、特別な取り組みを行う予定はない。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、および木くずは、土中から発生し、混合された状態となっているが、人力にて分別し、搬出する。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
② 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物類	
	排 出 量	14.0m3	
	（これまでに実施した取組） 土中から発生するごみとなり、土砂の付着により混合廃棄物処分となるため、可能な限り付着土砂を除去して処分した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物類	
	排 出 量	6.0m3	
	（今後実施する予定の取組） 引き続き付着土砂を除去して処分する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 土中から発生し、土砂が付着した状態となっているが、土砂を除去し、人力にて分別したうえで搬出する。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上		

(第2面) 別紙②

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
③ 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	自然石
	排 出 量	727.2 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 土中から発生する石となるため、抑制のための特別な取り組みは行っていない。自然石は今後発生予定。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	自然石
	排 出 量	50.0 t	800.0 t
	(今後実施する予定の取組) 土中から発生する石となるため、抑制のための特別な取り組みを行う予定はない		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートガラおよび自然石は、土中から発生し、混合された状態となっているが、BH・人力にて分別し、搬出する。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
④ 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	砕石	鉦さい
	排 出 量	556.3 t	488.8 t
	(これまでに実施した取組) 土中から発生する砕石・鉦さいとなるため、抑制のための特別な取り組みは行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	砕石	鉦さい
	排 出 量	120.0 t	35.0 t
	(今後実施する予定の取組) 土中から発生する砕石・鉦さいとなるため、抑制のための特別な取り組みを行う予定はない		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 砕石・鉦さいは、分けて敷き均された状態となっているので、混合せずに撤去している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上		

(第2面) 別紙③

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑤ 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ASガラ	
	排 出 量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 発生なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ASガラ	
	排 出 量	60.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 路盤材との混合を防ぐため、AS舗装のみをBHにて除去した後に、別ヤードにて破碎作業を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生なし		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 土中から発生する他廃棄物とヤードを分けて破碎し、混合しないようにする。		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑥ 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	排 出 量	4898.4 t	
	(これまでに実施した取組) 工事の支障となる最低限の掘削作業とするため、測量を頻繁に行い、過剰施工とならないようにした。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	排 出 量	0.0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後発生予定なし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生した土砂をスケルトンバケットにてふるい分けして分別した。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後発生予定無		

(第4面)別紙①

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず類
	全 処 理 委 託 量	21.5m3	49.0m3
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	21.5m3	49.0m3
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	21.5m3	49.0m3
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者への委託		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物類	
	全 処 理 委 託 量	14.0m3	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	14.0m3	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者への委託 付着土砂の除去により発生量の抑制		

(第4面)別紙②

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	自然石
	全 処 理 委 託 量	727.2t	0.0t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	727.2t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者への委託		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	砕石	鉾さい
	全 処 理 委 託 量	556.3t	488.8t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	556.3t	488.8t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者への委託		

(第4面)別紙③

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ASガラ	
	全 処 理 委 託 量	0.0t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.0t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者への委託		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	全 処 理 委 託 量	4898.4t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	4898.4t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者への委託		

(第5面) 別紙①

① 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず類
	全処理委託量	6.0m3	10.0m3
	優良認定処理業者への 処理委託量	6.0m3	10.0m3
	再生利用業者への 処理委託量	6.0m3	10.0m3
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		
	(今後実施する予定の取組) 再生利用業者への委託		
※事務処理欄			
① 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物類	
	全処理委託量	6.0m3	
	優良認定処理業者への 処理委託量		
	再生利用業者への 処理委託量	6.0m3	
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への委託 付着土砂の除去により発生量の抑制		
※事務処理欄			

第5面) 別紙②

① 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	自然石
	全処理委託量	50.0t	800.0t
	優良認定処理業者への 処理委託量		
	再生利用業者への 処理委託量	50.0t	800.0t
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		
	(今後実施する予定の取組) 再生利用業者への委託		
※事務処理欄			
① 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	砕石	鉾さい
	全処理委託量	120.0t	35.0t
	優良認定処理業者への 処理委託量		
	再生利用業者への 処理委託量	120.0t	35.0t
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		
	(今後実施する予定の取組) 再生利用業者への委託		
※事務処理欄			

第5面) 別紙③

① 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ASガラ	
	全処理委託量	60.0t	
	優良認定処理業者への 処理委託量		
	再生利用業者への 処理委託量	60.0t	
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		
	(今後実施する予定の取組) 再生利用業者への委託		
※事務処理欄			
① 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	全処理委託量	0.0t	
	優良認定処理業者への 処理委託量		
	再生利用業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		
	(今後実施する予定の取組) 今後発生予定なし		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第5面)

② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			